

新たなステージを 目指して

寒暖の差が激しい今年の梅雨。そんな梅雨空の元、6月17日(日)第16回定期総会が開催されました。

今回は総会前に、福島大学の松下行則教授を講師に「不登校との向き合い方」をテーマにした講演会を開催しました。多くの皆様の参加をいただき、あらためて、ビーンズふくしまの始まりである、フリースクールの役割とそこからの発信の必要性を痛感した時間でした。

総会では、ビーンズふくしまが、これまで地域のニーズに応えながら、県北地域を中心とした活動から、県中地域へとその活動のエリアを広げ、子ども若者支援から、被災状況にある子ども支援、貧困状況にある子ども支援とその活動の幅を広げてきた14事業の平成29年度の活動報告が行われました。

昨年度は、ワールド・ビジョン・ジャパンさんとの2年間の協働事業「福島子ども支援事業」のまとめの年にあたり、取り組みのひとつである子どもの貧困対策支援事業の成果を、「貧困の連鎖をたちきるために」という本にまとめ、その活動の意義やノウハウ

を発信することができたことを報告させていただきました。

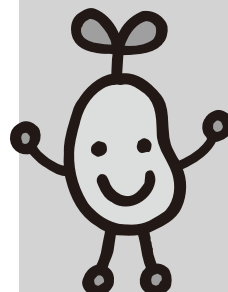
平成30年度は、郡山事業部門での事業集約と、就労移行支援事業所の準備など新たな方向性を示すと共に、継続した課題であった自主事業の収益改善について本格的に取り組んでいくことを方針として示し、承認されました。

今回任期満了にあたり、これまでご協力いただいた白鳥クニ子先生が理事を退任されることとなりました。2期4年間、ありがとうございました。

それに伴い、今期は松下行則先生を理事にお迎えし、これまでの役員の皆様(竹下俊之理事、星野庸子理事、中鉢博之理事、遠藤宏志理事、佐藤耕平監事)とともに新たなステージを目指して活動を進めてまいりたいと思っておりますので、皆様のご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

特定非営利活動法人
ビーンズふくしま
理事長 若月ちよ

ビーンズ 通信 vol.88



●発行日/2018年7月10日

●発行元
特定非営利活動法人

ビーンズふくしま

〒960-8066 福島県福島市矢剣町22-5 2F

TEL&FAX 024-563-6255

URL <http://www.beans-fukushima.or.jp/>

E-mail info@beans-fukushima.or.jp

NPO法人ビーンズふくしまは、不登校の子どもやひきこもりの青年などに安心できる居場所を提供し、1人1人に寄り添って、ゆるやかな社会参加を促し、その自立を支援する、若者支援の理念に基づいて事業を展開しています。



新しい理事の紹介

繋げる努力を



福島大学 人間発達文化学類
教育探究クラス 教授

松下行則

第16回総会前に講演をさせていただき、ありがとうございました。私自身の不登校支援の歴史を振り返る良い機会になりました。

私の本業は福島大学教員です。また、NPO法人きんこん館(学童保育所)で理事長として、たまに不登校に関わる支援をしています。

ビーンズふくしまに関わったのは、1999年の立ち上げとその後のわず

かな期間だけでした。再び名前を連ねることになるとは思っていませんでした。若月さんとスタッフのみなさん、それからビーンズで成長している子どもたちに大学の授業でお世話になっているので、恩返しとして、今回引き受けました。多忙のためどれだけお手伝いできるか全く未知数ですが、指1本くらいは繋げるように努力したいと存じます。

講演会を開催して

今年は総会の前に講演会を開催しました。

ビーンズとしては久しぶりに主催した講演会でしたが、その反響は大きく、想定を上回る100名を超えた参加者に大慌ての会場でした。ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。

なぜ、こんなに多くの方々が足を運んでくださったのか・・・アンケートにお答えいただいた方の半数が、「現在困っていることがある」と書いてくださいました。お子様が不登校・ひきこもり状況にある方、先生や関係者の方で不登校のお子さんに関わりのある方々が、目の前にいる子どもと「どう向き合ったら良いのか」、皆さん悩んでいらっしゃる状況にあることが伝わってきました。

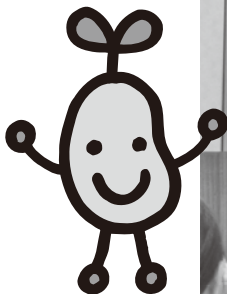
平成28年度の文部科学省調査によると全国の小中学校の不登校児童生徒数は134,398人。小中学生のうち1,000人に13.5人が不登校になっている状況で、発生率は過去最高を更新しています。相談体制の強化などの対策も講じられていますが、抜本的な改善にはなかなか結びついていないのが現状です。

不登校がすぐ解決する特効薬のようなものはありません。子どもの今の状況をまずは受け止める、苦しさ、辛さ、不安の中にいる子どもを受け止め、どう付き合っていくのか。親としても、自分の在り様、これまでの子どもとの関係、価値観の問い直しが必要になることもあります。それは、なかなか一人でできることではなく、

誰かに相談したり、同じ立場の方の経験や話を聞いたりすることが助けになります。

また、親だけでなく学校や地域社会、周りの大人が理解を深め、この課題とどう向き合うかを社会として考えていく視点も必要です。

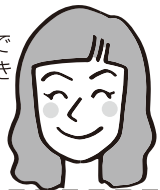
今回の講演会の中で、そのヒントになるお話しがたくさんあったかと思えます。これからも、ビーンズふくしまから継続して発信をしていきたいと思っています。この課題に向き合うにはどうすれば良いのか、これからも共に考えていきましょう。



書くこと大好き!好奇心でできている万年お姉さんです。どうぞよろしくお願ひします。
ふくしま子ども支援センター
原田 祥子



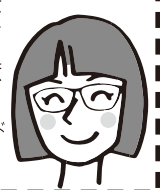
犬と猫とモモンガを飼っています。毎日の生活の中で色々勉強していきなりたいです!
みんなの家@ふくしま
安齊 美穂子



エコクラフトでバックを作ること、ラリーボールをすること、食べ歩きをすることが好きです。
復興交流拠点みんなの家セカンド
佐藤 静香



福島市出身。震災後は鳥取で避難者支援をしていました。2歳の娘の歌に癒されています。
復興交流拠点みんなの家セカンド
船山 雅代



ときどき荒川に行きます。思っていたよりいろんな植物や鳥に気づきます。いいですよ!
ふくしま子ども支援センター
矢島 環



関西弁じゃない大阪人。食べること飲むこと大好き!食べても太らない体が欲しいです。
ふくしま若者サポートステーション
木山 侑香



5月からスタッフとなりました。常に学ぶ姿勢も忘れず、力になれるよう頑張ります。
こおりやま若者サポートステーション
秋山 詩子



小1、年中、一歳の子がおります、32歳三児の母です。座右の銘はケセラセラです!笑
ユースプレイス事業(県北)
本多 亜希



高校3年生と高校1年生の母親です。実践を沢山つんで、頑張っていきたいと思ひます。
ふくしま子ども支援センター
菅野 多美子



関西弁じゃない大阪人。食べること飲むこと大好き!食べても太らない体が欲しいです。
ふくしま若者サポートステーション
木山 侑香



5月からスタッフとなりました。常に学ぶ姿勢も忘れず、力になれるよう頑張ります。
こおりやま若者サポートステーション
秋山 詩子



篠木キャサリンです。3人の子育てを経て、5人の孫と格闘しながら演劇活動もしております。
福島県子どもの学習支援事業
篠木 美津枝



どうぞよろしく!
ビーンズの新しい仲間たちです!